CLAIRトピックス――最近のクレアの動きや所管国の状況等を短くまとめて紹介します

北京事務所

「上海ジャパンブランド」が開催されました

２月４日・５日の２日間、上海ららぽーとで「上海ジャパンブランド」が開催されました。本イベントは、JTB 上海が事務局となり中国各地の日系商業施設などで定期的に開催している一般消費者向けの日本 PR イベントで、多くの来場者で賑わいました。

出展した各自治体のブースでは、パンフレット配布を通じた観光 PR や地酒の試飲などが行われたほか、静岡県ブースでのミニ四駆大会、滋賀県ブースでの郷土料理弁当の販売、茨城県ブースでのおみくじなど、各地の特色を生かした PR が行われ、来場者を引きつけました。

来場者らは「今年は日本旅行を計画している」「早く日本に遊びに行きたい」と口々に言いながら真剣にパンフレットをめくっていました。地酒や郷土料理への反応もよく、予想以上の売れ行きがあり、日本への興味・関心の高さがうかがえました。

自治体の紹介を行うクレア北京事務所職員

ジャパンフェスティバル雲南に出展し日本の魅力発信を行いました

２月 11 日・12 日の２日間、雲南省昆明市内の商業施設で日中文化交流を目的とした「ジャパンフェスティバル雲南」が開催されました。クレア北京事務所は、日本の地域の魅力を PR するため、計 15 の在中国自治体事務所と協働してブースを出展しました。

各自治体ブースではそれぞれの地域の文化観光紹介や特産品の試食・販売のほか、ステージパフォーマンスを活用したクイズ大会などを通して、会場を訪れた人々と交流を行いました。クレア北京事務所ブースでは各自治体の観光パンフレットやノベルティグッズ配布を通じた SNS フォローキャンペーンを実施しました。

イベント期間中は約５万 5,000 人の来場者があり、多くの昆明市民がクレア北京事務所ブースや各自治体ブースを訪れ、訪日観光を待ち望む声が寄せられました。

クレアブースにて日本の魅力を PR するクレア北京事務所職員

パリ事務所

「歩ける中心市街地の賑わいの創出」とは？クレアパリ事務所ウェビナーを開催しました

３月９日、クレアパリ事務所は、フランス都市政策研究者としてご活躍されているヴァンソン藤井由実氏を講師にお迎えし、「自治体が主体となる新しい都市像の模索 ―フランスの地方都市、アンジェ、ナント、ディジョンの事例―」と題したウェビナーを開催しました。

フランスの地方都市では、歩行者専用空間の整備が進み、「歩ける中心市街地の賑わいの創出」に成功しており、人口が 50 万人以下の都市においても、まちが賑わう様子が見られます。今回のウェビナーでは、フランスの地方都市であるアンジェ、ナントおよびディジョンの３都市に焦点を当て、まちの賑わいの創出に成功したポイントを詳しく解説していただきました。視聴者からは「フランスの交通政策やスマートシティへの取り組みが参考になった」「日本の地方都市と同じ規模のフランスの自治体でも、都市計画が整備され、住民が住みやすい環境になっていることが分かった」という感想のほか、「事例紹介されたディジョンにはぜひ行ってみたいと感じた」などと、フランスの自治体への関心が窺えるようなコメントもいただきました。

今回のウェビナーと同様に、クレアパリ事務所では、今後も日本の自治体に役立つ情報を発信してまいります。

ナントの街並み

ディジョン駅の様子

シドニー事務所

キャンベラ奈良キャンドルフェスティバルにて訪日インバウンドプロモーション

12月3日、「キャンベラ奈良キャンドルフェスティバル」が開催されました。このイベントはキャンベラ市と奈良市の姉妹都市関係を祝して開催され、会場のキャンベラ奈良平和公園では、ステージでの日本の音楽披露のほか、日本食販売や在オーストラリア日本国大使館のブースでのけん玉や習字体験などが行われ、たくさんの来場客で賑わいました。日が暮れてからは、数多くのキャンドルへの点灯とイルミネーションが行われ、会場は幻想的な雰囲気に包まれました。

クレアシドニー事務所は大使館ブースの一画をお借りし、奈良市を中心とした訪日インバウンドプロモーションを実施しました。ブースを訪問された方の中には、既に日本へのチケットを購入して観光情報を集めている最中の方や、日本に複数回旅行したときの思い出を懐かしそうに語ってくれる方が多くいました。

今後も姉妹都市をきっかけに、日本とオーストラリアの文化交流がますます深まるよう、クレアシドニー事務所は引き続き取り組んでまいります。

訪日インバウンドプロモーションを行うクレアシドニー事務所職員

キャンドルとイルミネーション展示

ニューヨーク事務所

熊本市長が国連水会議に出席

2023年3月21日に国連本部において開催された「第6回国連水と災害に関する特別会合・科学技術パネル　ショーケース」、および翌22日から24日に同じく国連本部において開催された「国連水会議2023」への出席のため、大西一史熊本市長がニューヨークを訪れました。

市長は、上記会議にパネリストとして登壇し、2022年4月に熊本市で開催された「第4回アジア・太平洋水サミット」における成果および同市の地下水保全の取り組みなどについて発表しました。これらの会議期間中は、クレアニューヨーク事務所職員がアテンドの支援を行いました。

また、市長は3月20日に同事務所を訪問されました。今回の渡米の経緯や目的、同市の今後の北米での取り組みの方向性などについてお話しいただいた後、自治体の海外活動の状況などについて同事務所職員と意見交換を行いました。

国連で発表する大西熊本市長

クレアニューヨーク事務所を訪問した熊本市訪問団（向かって左4名。中央が市長）

シンガポール事務所

ブルネイ大学にて日本の地方自治セミナーを開催

2023年2月15日、クレアシンガポール事務所はブルネイ大学において日本の地方自治セミナーを開催しました。このセミナーはブルネイの学生に日本に対する理解を深めていただくことを目的としたものです。

今回のセミナーにご協力いただいたブルネイ大学は、ブルネイの北部に位置する1985年創設の国立総合大学です。本セミナーには日本に留学予定または日本に関心のある学生（主に学部生）約50名、教授・講師約10名に参加いただきました。

当日はブルネイ大学からの要望に基づき「日本の文化・生活様式」「日本のムスリム」「日本の学生生活」について職員によるプレゼンテーションやパネルディスカッションを実施し、学生の皆様に日本の生活習慣や自治体のムスリム施策、日本の学生生活に必要な情報を得る機会を提供しました。職員としても学生との交流を通じて派遣元の施策やブルネイの若者の日本に対するイメージや大学事情などを学ぶ貴重な機会となりました。

派遣元自治体についてプレゼンを行うクレアシンガポール事務所職員

パネルディスカッションの様子

ロンドン事務所

JET プログラム帰国者レセプション「UK JET Reunion」を開催

3 月 3 日、英国出身の JET プログラム終了者をねぎらうため、在英日本国大使館との共催で帰国者レセプション「UK JET Reunion」を開催しました。

コロナ禍により 3 年半ぶりの開催となったこのレセプションは大使館を会場とし、2020 年から 2022 年にプログラムを終了した 28 名と 2019 年以前に終了した 62 名、そのほか企業や団体の関係者など、約 140 名にご出席いただきました。

この席上では、英国の JET プログラム終了者の同窓会組織である JETAAUK 会長による帰国者へのねぎらいとともに同会の活動紹介があったほか、日系機関による国際交流事業の紹介などを通して、日本との継続的な交流への参画の呼びかけがありました。

出席者からは、「日本での貴重な経験を共有できる機会があってとてもうれしかった」「JET プログラムへの参加は非常にエキサイティングな経験で、ぜひもう一度参加したいと考えている」といった声が聞かれました。クレアロンドン事務所は、日本関係企業・団体との交流機会の創出を図るなど、今後も引き続き JET プログラム終了者を支援していきます。

レセプションで挨拶をする JETAAUK 会長

交流する参加者の様子

ソウル事務所

第 3 回韓国自治体政策研究セミナー動画を配信しました !!

クレアソウル事務所では、韓国の自治体における優秀な政策を日本の自治体の皆様に紹介し、参考にしていただくために、韓国内の自治体の事業担当者や有識者などに講義をしていただく形のセミナーを配信しています。

今回は、行政安全部（韓国の総務省）からも優秀な事例として認められ、国内での高い評価を得ている釜山広域市の地域通貨「동백전（トンベクジョン）」をテーマに講演をしていただきました。

今回のセミナー動画の作成は、撮影から編集までを自前で行ったことで、釜山広域市の担当者に細かい部分まで確認しながら、事業内容をより深掘りしていくことができました。

韓国ならではの「とりあえずやってみる精神」で、課題がありながらも、まずは事業をスタートさせて、やりながら軌道修正を図っていく取り組みなど、日本の行政では、なかなか見ることのできないような手法で事業を展開していますので、是非ご覧ください。

第３回韓国自治体政策研究セミナー
釜山広域市の地域通貨事業の紹介

https://youtu.be/bBZEWryGo40

交流親善課

プロトコールセミナーを開催します！

国際関係業務に携わる自治体職員の国際儀礼（プロトコール）に関する知識の向上を目的として、オンラインによるプロトコールセミナーを開催します。外務省大臣官房儀典官兼儀典賓客室長の鍛治宗能恵氏を講師に招き、表敬訪問におけるプロトコールの基本知識や、海外からの来客の正しい対応についてご説明いただきます。

セミナーの詳細や参加登録の方法などは、以下のホームページで順次お知らせしていきます。多くの自治体関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2023 年 5 月 30 日（火）14:00 ～ 15:30（予定）
開催方法：オンライン（Zoom）
テーマ：表敬訪問などにおける国際儀礼（プロトコール）について
ホームページ：http://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/online_seminar.html

経済交流課

2022 年度日本ふるさと名産食品展 in ニューヨークを開催しました！

クレアでは、海外へ進出しようとする地域の事業者支援を行う自治体のために、地域産品のテストマーケティングと販路開拓を目的とした食品展（物産関係支援事業）を開催しています。

2022 年度は 2023 年 2 月 23 日から 26 日の 4 日間にわたって、2021 年度に引き続き、世界中から人が集まる情報の発信地であり、健康意識の高まりから日本食が注目されている米国・ニューヨークにおいて開催いたしました。

会場である日系店舗が入居する商業施設「ジャパンビレッジ」は、人種や年齢を問わず、目新しい日本の食品を求めて訪ねてきたニューヨーカーたちで終日賑わい、同期間中の来場者は 1 万 7,000 人余りを記録するなど、大盛況でした。

本食品展には、11 自治体から 20 事業者 67 品目が出展しましたが、来場者の反応をつかみ取りたい事業者の思いが通じたのか、商品の売り切れが続出するなど、催事は好評のうちに終了しました。

クレアでは、今後も海外展開を試みる自治体のために、充実した内容の物産関連イベントを企画します！

※事業の詳細はホームページをご覧ください。

http://economy.clair.or.jp/activity/exhibition/exh-past/

■お問い合わせ　経済交流課　Tel：03-5213-1726　Mail：keishin@clair.or.jp

来場者で賑わう会場の様子

多文化共生課

地域国際化推進アドバイザー派遣制度
～多文化共生施策の推進のためクレアが有識者を派遣します～

クレアでは、多文化共生分野などで専門的な知識や経験を有する有識者を「地域国際化推進アドバイザー」として登録し、地方公共団体や国際交流協会からの申請に基づき派遣しています。2022 年度は延べ 78 件（現地 66 件・オンライン 12 件）の派遣を行いました。

研修や講演会での講師としてはもちろん、多文化共生にかかる事業の実施運営のための関係者会議などにおいて助言を受けるためにも制度をご活用いただけます。ぜひお気軽にお問い合わせください。

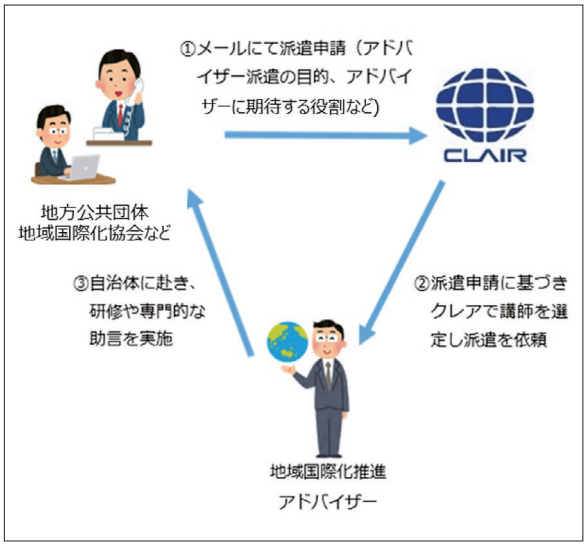
◆派遣対象団体
- 地方公共団体
- 地域国際化協会
- 市区町村の国際交流協会　など

◆派遣対象事業（例）
- 災害多言語支援センター設置運営訓練における指導
- やさしい日本語に関する講演会の開催
- 日本語学習支援ボランティアのスキルアップ研修の実施
- 多文化共生指針策定のための庁内検討委員会での助言
- 外国人相談窓口の運営にかかる会議での助言や事例紹介　など

◆クレアが負担する費用
- アドバイザーの往復交通費および日当
- アドバイザーの謝礼金（1 回の派遣につき 4 時間分まで）

アドバイザーや派遣実績の詳細などについては、ホームページをご覧ください。

https://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/advisor.html



アドバイザー派遣活用の流れ

JET プログラム事業部

JET プログラム参加者へのメンタルサポートについて

クレアでは、JET プログラム参加者のメンタルヘルスに係るサポートの充実を図ることを目的として、JET プログラム参加者メンタルヘルスカウンセリング助成事業を実施しております。医療機関またはカウンセリング専門機関などにおいて、健康保険適用対象外でカウンセリングを受けた場合、経費の 50%、年間 3 万円を上限として助成しています。

また、クレアが提供する JET オンラインカウンセリングサービスでは、ウェブメールとスカイプを通じ、JET プログラム参加者が無料でカウンセリングを受けることもできます。

本事業の詳細については、3 月下旬に通知を送付しております。また、毎月の CLAIR ニュースでも情報提供しておりますので、ご確認いただくとともに JET プログラム参加者への周知をお願いいたします。